

(地域情報発信の強化－ 6)

地域の埋もれたお店を浮上させる「ぷらなび@ami' z」
(株式会社富士通システムズ・イースト)
<http://pr.amiz.jp/>

〔概要〕

地域のお店などリテール事業者の情報化を推進するため、ケータイやスマホ(以下モバイル)で手軽に利用できる情報発信ツール(店舗紹介・BLOG発信・お客様へのメール配信・お店の会員登録・電子クーポン・通販機能など)を地域共同利用型サービスとして提供。お店から発信された情報は、地域のお店情報ポータル(ぷらなび@ami' z)や、観光サイトや地域SNSなど複数の地域メディアに同時配信され、地域の埋もれたお店を浮上させます。

〔コラム〕

ICTの普及・進化により、通販など物販事業には大きな恩恵をもたらしましたが、飲食店など来店型の事業者の多くは、まだ紙媒体に依存しており、情報発信コストが割高となっています。

また、ケータイを活用した会員サービスによる顧客囲い込みなど、来店型事業者にはケータイの活用が有効ですが、小規模店舗で同様のサービスを構築するのは容易ではなく、情報発信力による格差が段差になりつつあります。

この課題に着目し、地域の小規模店舗の情報発信力を底上げするため、以下の情報サービスを構築しました。ここから発信された情報は地域SNSや観光サイトなど様々な地域メディアと連動し、多角的に情報流通される地域の情報基盤としての位置づけにもなっています。

1. 地域メディアへお店情報を発信

地域住民が集う地域SNSや、地域のお店情報ポータルサイトを開設し、これら地域メディアとの連動により、お店からの発信情報を地域住民へ届けます。

2. お店のリピータづくり

店頭にお店専用QRコードを表記したPOP等を設置。来店客はケータイで、そのお店の優待会員として登録できます。お店の発信したオススメ情報はメール等で配信され、今日の入荷情報など、これまで来店しないと伝えることができなかった情報をお得意様にタイムリに発信できます。

3. 地域での共同利用型サービス

地域の共同利用型サービスにすることで、利用コストを抑制でき(基本無料、有料OPTIONは月額2,625円)、地域のお店の集合により露出機会の相乗効果も生まれます。また、地域の公共観光サイトなどとも連携し、旅行者に着地側のお店から生の声、旬な情報なども発信しています。



〔制作費(うち公的な補助額)〕

H20年度 青森県新産業創造課 情報ビジネスモデル研究事業 補助額:150万円

〔運営費〕

参加店舗からの会費収入で民間運営(基本無料、有料サービス:月額2,625円)

(問い合わせ先)

株式会社富士通システムズ・イースト 青森オフィス 米田(まいた)

TEL:017-762-1053 e-mail:maita-t@jp.fujitsu.com